

2

ウェブ上で簡単に肥料計算！「施肥なび」

要約

簡単な操作で土づくり肥料（土壌改良資材）、堆肥、化学肥料の適正量や肥料費を計算できる施肥設計支援システム「施肥なび」を開発しました。

研究成果の概要

1 背景・目的

適正な施肥量を決めるには、土の養分状態や堆肥に含まれる養分量に基づく複雑な計算が必要でした。

そこで、誰でも簡単な操作で土づくり肥料、堆肥、化学肥料の適正な量や費用を計算できる施肥設計支援システムの開発に取り組みました。

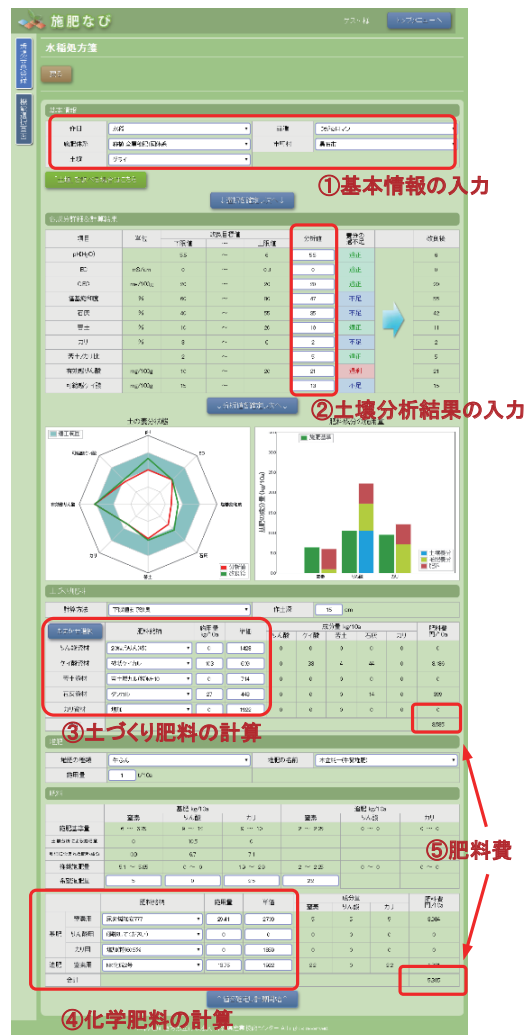
2 内容

移植水稻（復元田を除く）、畑作物、露地野菜の施肥設計ができます。

- インターネット上で利用可能で専用アプリは不要です。
- 土壌分析結果から土の養分の過不足を判断し、改良に必要な土づくり肥料や、土や堆肥の養分量を考慮した化学肥料の適量を計算できます。
- よく使う土づくり肥料や化学肥料を登録し、使用量や費用を試算できます。
- 土の養分状態の改良程度と、各肥料成分の過不足程度をグラフで確認できます。

3 活用等

全農あおもりや県と連携して、土づくり関連の研修会等で紹介しながら、土壌診断データの積極的な活用を促進しています。



「施肥なび」の操作画面

関連情報

- 「施肥なび」は、ウェブサイト <https://www.aomori-itc.or.jp/sehisekei> またはQRコードからアクセスできます。
- 土壌種類の判別には、Google マップを背景にした土壌図を使用しています。



施肥なび